

シックハウス診断士公式テキスト改訂表



場所	内容	旧	新
P68	法改正	キシレン (毒性指標) 妊娠ラット吸入曝露における出生児の中枢神経系発達への影響 (室内濃度指針値) 870 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.20ppm) (設定日および改定日) 2000.6.26	キシレン (毒性指標) ヒトにおける長期間職業曝露による中枢神経系への影響 (室内濃度指針値) 200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.05ppm) (設定日および改定日) 設定日：2000.6.26 改定日：2019.1.17
P68	法改正	フタル酸ジ-n-ブチル (毒性指標) 母ラット経口曝露における新生児の生殖器の構造異常などの影響 (室内濃度指針値) 220 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.02ppm) (設定日および改定日) 2000.12.15	フタル酸ジ-n-ブチル (毒性指標) ラットの生殖・発生毒性についての影響 (室内濃度指針値) 17 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (1.5ppb) (設定日および改定日) 設定日：2000.12.15 改定日：2019.1.17
P68	法改正	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル (毒性指標) ラット経口曝露における精巣への病理組織学的影響 (室内濃度指針値) 120 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (7.6ppb) (設定日および改定日) 2001.7.5	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル (毒性指標) ラットの雄生殖系への影響 (室内濃度指針値) 100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (6.3ppb) (設定日および改定日) 設定日：2001.7.5 改定日：2019.1.17

個別化学物質の室内濃度指針値等

揮発性有機化合物	各物質の 選定理由	毒性指標	室内濃度指針値	設定日及び 改定日
ホルムアルデヒド		ヒトの吸入曝露における鼻咽頭粘膜への刺激	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.08ppm)	1997. 6. 13
トルエン	(1) (2)	ヒトの吸入曝露における神経行動機能および生殖発生への影響	260 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.07ppm)	2000. 6. 26
キシレン	(1) (2)	ヒトにおける長期間職業曝露による中枢神経系への影響	200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.05ppm)	設定日：2000. 6. 26 改定日：2019. 1. 17
パラジクロロベンゼン	(1) (2)	ピーグル犬経口曝露における肝臓および腎臓などへの影響	240 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.04ppm)	2000. 6. 26

揮発性有機化合物	各物質の 選定理由	毒性指標	室内濃度指針値	設定日及び 改定日
エチルベンゼン	(1) (2) (3)	マウスおよびラット吸入曝露における肝臓および腎臓への影響	3800 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.88ppm)	2000.12.15
スチレン	(1) (2)	ラット吸入曝露における脳や肝臓への影響	220 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.05ppm)	2000.12.15
クロルピリホス	(4) (5)	母ラット経口曝露における新生児の神経発達への影響および新生児脳への形態学的影響	1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.07ppb) 但し、小児の場合、0.1 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.007ppb)	2000.12.15
フタル酸ジ-n-ブチル	(1) (3) (5)	ラットの生殖・発生毒性についての影響	17 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (1.5ppb)	設定日：2000.12.15 改定日：2019.1.17
テトラデカン	(2) (6)	C8-C16 混合物のラット経口曝露における肝臓への影響	330 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.04ppm)	2001.7.5
フタル酸ジ-2-エチルヘキシル		ラットの雄生殖器系への影響	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (6.3ppb)	設定日：2001.7.5 改定日：2019.1.17
ダイアジノン	(4) (5)	ラット吸入曝露における血漿および赤血球コリンエステラーゼ活性などへの影響	0.29 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.02ppb)	2001.7.5
アセトアルデヒド	(1) (2)	ラットの経気道曝露における鼻腔嗅覚上皮への影響	48 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (0.03ppm)	2002.1.22
フェノブカルブ	(3) (5)	ラットの経口曝露におけるコリンエステラーゼ活性などへの影響	33 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ (3.8ppb)	2002.1.22
総揮発性有機化合物 (TVOC)	(1) (3)	国内の室内 VOCs 実態調査の結果から、合理的に達成可能な限り低い範囲で決定	暫定目標値 400 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	2000.12.15

一般社団法人日本環境保健機構
2019年2月現在